

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	34 広島県
市区町村名	34209三次市
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
34209三次 市	②学校と地域 の課題	03 学校支援 ボランティア の確保・育成	地域の文化・伝統の学習や 活動への参加が学校の授業に 取り入れられているが、準備や 調整の業務が教職員の負担と なっている。	市内の各コミュニティ・スクールに地域学 校協働活動推進員(令和6年度末時点で13 人)を配置し、講師手配や打合せを通じて 学校と地域の連携を図る。	時間外在校時間が月45時間以内の教職 員の割合が増加している。令和7年度は、連 絡会議での情報共有や意見交換の場を増 やし、研修会を通じて活動の効果を高め、地 域の協力を活かした取り組みを進めること で、教職員のさらなる負担軽減を図る。	地域による、文化や伝統、地域 活動等への地域住民の参加に より、教職員の負担の軽減につ ながる。	時間外在校等の時 間が月45時間未満 の教職員の割合。	83.9	%	85	82.7	02 本 年度 の目 標値を 下回 り、取 組の 工夫・ 改善 が求 められ る 教職員の病気休暇、育児休業の代員を措置できず、学校の 管理職が対応していたことで業務量が増加。教職員が担う べき業務以外の部分で地域連携による業務軽減が図れるよ う工夫を続ける。	

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。